

7/14 「たい」に込める無災害の願い

町指定無形民俗文化財「平谷の流したい」、中川根南部小の児童らも参加



児童らが協力して作り上げた「ミニたい」も、大井川に流した。

大井川に「たい」と呼ばれるたいまつを流して1年間の無災害を祈願する「平谷の流したい」が瀬平区の大井川河川敷で行なわれ、区民や中川根南部小の児童ら約70人が参加しました。

材料を持ち寄った区民らは、麦わらを束ねて直径3センチほどの台座を作りその上に青竹の先端を短冊状に裂いたたいまつを乗せて組み立て、無災害を祈願し大井川に流して奉納しました。

区長の駒井勝司さんは「人のつながりを大切にして伝統行事を継承し、地区の活性化につなげていきたい」と話しました。

さらなる品質向上を目指して 7/11

【川根茶】の出来栄えを審査する町茶品評会を開催

町茶品評会が、町農林業センターで開催されました。

昨年に引き続き、今年も町内だけでなく町外生産者からの出品も受け付けました。出品数は、静岡市清水区や磐田市、島田市からの出品も含めて、手摘みの部に4点、機械摘み被覆の部に9点、機械摘み露地の部に16点でした。

審査は、県茶業研究センターの鈴木康孝研究統括監を審査長とする審査員6人が、全国茶品評会審査基準に準じて厳正に行いました。審査結果は、外観20点、香気75点、水色30点、滋味75点の計200点で採点されました。

また品評会終了後は、審査員と出品者による意見交換会が開催されました。鈴木審査長からは「上位の出品茶は山のお茶の特徴が良く出ており、全国の品評会でも入賞するクラス」との講評があり、出品者からは今年度の出品茶の傾向や製造方法で気をつけることなどについて質問がありました。

【審査結果】（※受賞対象は町内出品者のみ）

◆手摘みの部

優等：川崎好和、1等：つちや農園 土屋鉄郎

◆機械摘み（被覆）の部

優等：丹野園 丹野浩之、1等：高畑園 高畑裕

◆機械摘み（露地）の部

優等：相藤農園 相藤直紀、1等：相藤園 相藤令治



感覚を研ぎ澄まして香気を審査する審査員。



来年の摘採・製造に向け、活発な意見交換会となった。

6/18 さあ、東海大会へ！



学校でも、7月26日開催の町内小学校陸上大会に向けて練習中。

小学生陸上大会で町内小学生が優秀な成績

全国小学生陸上競技交流大会静岡県選考会が静岡市の草薙陸上競技場で開催され、小林慶汰くん(本川根小6年)が男子80mハードル競技で2位に入賞しました。

小林くんは、8月26日に岐阜県で行なわれる東海5県小学生陸上競技大会に出場します。「かわねライフスポーツクラブ陸上教室」に所属する児童による東海大会への出場は、今回で3年連続となります。小林くんは「自己ベストを更新できるように、苦手なスタートを意識して練習したい」と意気込みを語りました。

「ジェンズ」って面白いね！

6/19

「地域に開かれた学校」を目指し、本川根小が「国際ふれあい交流」を初開催

本川根小学校の児童51人は、同校にケーブルテクニカ(株)の中国人社員3人を招き、国際交流授業を行いました。

社員から自己紹介や中国の文化についての説明を受けると、児童らは「日本には何に乗って来ましたか?」「好きな中国の食べ物は何か?」などと興味津々に質問していました。

その後、社員と児童らは複数のグループに分かれて、羽根の付いた重りを落とさないように蹴り上げる中国の伝統的な遊び「ジェンズ」を体験し、交流を深めました。



社員の方にコツを教わりながら、楽しく交流しました。

7/1

南アルプスに夏来たる

夏山シーズンの到来を祝い登山の安全を祈願

南アルプス寸又峡口で、山開きの神事が執り行われ、関係者ら約60人が出席しました。

主催したまちづくり観光協会の富田道明会長は「南アルプスを訪れるすべての人が、事故もなく十分に楽しんでもらえるシーズンにしたい」と決意を新たにあいさつしました。

翌2日には、南アルプスファンクラブが山歩きイベントを開催しました。前日に開催された記念講演会で講師を務めた元千頭営林署職員の谷田部英雄さんも同行し、林道に面影が残る森林鉄道の思い出を参加者に紹介しました。



町内外から30人が参加し、往復約11kmの道のりを歩いた。